

インシデントレポートの医師報告割合

算式

1年間の報告数/病床数 × 100 (%)

対象

院内で報告されたインシデントレポート全件数

考察

報告のあったインシデントレポートのうち、医師からの報告割合を示したものである。医師は手術、検査・処置などで患者に直接的に医療行為を行っており、懸念や影響度レベルの低いインシデントやアクシデントに直面する機会も多く、安全上の非常に重要な情報を持っていることが多い。「インシデントレポート総数が病床数の5倍、そのうち1割が医師からの報告」というのが透明性が高い組織の目安と言われている。当院の2021年度～2023年度の医師の報告割合は約6～8%で推移している。全体の報告件数は増加、医師からの報告件数はほぼ横ばいで推移している。医師からのインシデントレポート割合を増やすための意識醸成、組織的な安全文化の醸成が必要であり、医療安全管理部が主導となり対策を講じていく必要がある。

計画

インシデントレポート件数だけでなく、医師からの報告割合も組織的な安全文化醸成の指標となる。今後も、安全な医療の提供のために、当院の安全文化醸成のひとつの指標として医師からのインシデントレポート報告数をモニタリングし、より効果的な安全文化醸成への取り組みに繋げる。

(当院の目標値：8%)

